

調理師免許申請書

- 1 免許取得資格について、該当するどちらかに年月を記入すること。
    - (1) 調理師法第3条第1項第1号(調理師養成施設卒業) \_\_\_\_\_年 月 卒業
    - (2) 調理師法第3条第1項第2号(調理師試験合格) \_\_\_\_\_年 月 合格
  - 2 調理師免許取消し処分の有無。(有の場合、その理由及び年月日)  
有・無 \_\_\_\_\_
  - 3 罰金以上の刑に処せられたことの有無。(有の場合、その罪、刑及び刑の確定年月日)  
有・無 \_\_\_\_\_
  - 4 旧姓併記の希望の有無。  
有・無 \_\_\_\_\_
- 上記により調理師免許を申請します。

令和 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

ふりがな			旧姓 (併記の場合)		
氏名					
通称名			性別	男・女	
本籍地	都道府県名(国籍)		生年月日	昭和 平成 西暦	年 月 日
住所	(〒 _____ )				
連絡先	( _____ )				日中連絡の取れる連絡先を御記入ください。

愛知県知事殿

受付欄	※保健所受付印	※県受付印

(注意)

- 1 ※印欄は記入しないでください。
- 2 字は、黒インク、ボールペン等ではっきりと記入してください。
- 3 氏名については、戸籍抄(謄)本や住民票等に記載されている文字で記入してください。
- 4 調理師免許証に記載される氏名は、原則として戸籍抄(謄)本に記載されている文字となります。JIS(日本産業規格)漢字コード第1水準及び第2水準以外の文字については、JIS規格第1水準及び第2水準の文字で交付します。
- 5 生年月日について、日本国籍を有しない方は西暦で記入してください。
- 6 住所について、住民票に記載されている住所地を記載してください。医師の診断書に記載される住所地も同様です。
- 7 旧姓は確認できる過去の氏の中から1つを選んで併記することが可能です。
- 8 通称名は住民票に記載のあるものに限り併記することが可能です。

(添付書類等)

- (1) 免許資格を証する書類
  - ア 調理師養成施設の卒業者:卒業証明書及び履修証明書
  - イ 調理師試験合格者:調理師試験の合格証書
  - ウ 調理師講習会修了者:調理師講習修了証書
- (2) 麻薬、あへん、大麻又は覚醒剤の中毒者でない旨の医師の診断書(裏面、ただし任意様式も可。有効期限:3か月)
- (3) 戸籍抄(謄)本又は住民票の写し(本籍の記載のあるもの。外国人にあっては国籍の記載のあるもの。ただし、個人番号の記載の無いものに限る。有効期限:6か月)
  - ※旧姓併記する場合は、当該旧姓の記載されている戸籍抄(謄)本から現在の氏が記載されている戸籍に至る全ての戸籍抄(謄)本又は当該旧姓が併記された住民票の写しを添付すること。
- (4) 手数料 5,700円(愛知県収入証紙)

# 診 断 書

住 所			
氏 名	生年月日	昭和 平成	年 月 日

上記の者は、中毒者（麻薬、あへん、大麻又は覚醒剤）の症状を認めません。

上記のとおり診断します。

令和 年 月 日

医療機関住所

医療機関名

診断医師名



(注 意)

- 1 診断書の有効期限は、発行後3か月以内です。
- 2 診断書の誤記(住所、氏名、生年月日含む)については、医師が証明に用いた印鑑で訂正印を押印してください。
- 3 住所については、住民票及び申請書と同一である必要があります。